

会 議 録

会 議 の 名 称	第4回 日向市営墓地の在り方検討委員会
開 催 日 時	令和4年6月28日（火） 14時00分から16時00分まで
開 催 場 所	日向市役所2階 会議室201
出 席 者	【委員】 三浦 雅典（日向市区長公民館長連合会） 松岡 利夫（日向市民生委員児童委員連絡協議会） 壹岐 大祐（日向保健所） 黒木 裕也（日向東臼杵広域連合） 新名 恵美子（公募委員・市営墓地使用者） 治田 幹生（公募委員） 児玉 貴 （日向市市民環境部長） 【事務局】 甲斐 香代（市民課長） 黒木 宗隆（市民課課長補佐） 本田 侑也（市民課主事）
議 題	会議資料「会次第」のとおり
会議の資料の名称及び内容	1 会次第 2 第3回会議録、質問に対する回答 3 議事
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

1 開会

2 報告

人事異動に伴う就任の挨拶

第3回会議録、質問に対する回答

3 議事

1 市営墓地の使用料の見直し、管理料の導入

2 市営納骨堂の管理料の導入

3 交通対策

について資料を用いて説明

4 意見交換

[質疑・意見等は以下のとおり。]

3 議事

1 市営墓地の使用料の見直し、管理料の導入

(委員)

昭和56年から使用料が1㎡あたり33,000円となり現在まで変わらないようだが、使用料の算定根拠を提示してほしい。また、管理料を廃止し、昭和52年に1㎡当たり13,000円だった使用料を、なぜ短期間で値上げすることになったのか。

(事務局)

当時の資料等が残っていないため、算定の具体的な数字は示せないが、用地の取得費用や造成費用を根拠として設定したものと思われる。値上げについても明らかでないが、同じく用地の取得や造成費用が関係しているものと考えられる。

(委員)

徴収事務の負担を考えると、使用料と管理料をそれぞれ徴収するのではなく、管理料込みで使用料を設定してはどうか。

(事務局)

貸出時に徴収することとなるため、金額の算定方法によっては、将来的に現在と同じように維持管理費が賄えなくなる可能性も考えられる。徴収方法は別として、使用料と管理料は別々に設定する必要がある。

(委員)

管理料の導入については賛成だが、必要最小限の低廉な金額に設定するべきと考える。

2 市営納骨堂の管理料の導入

(委員)

納骨堂の維持管理にはどのくらい費用がかかっているのか。また今後、施設の改修等や新たな納骨堂の建設等の予定はあるのか。

(事務局)

維持管理費用については、土地の賃借料等含めて年間 50 万円程度である。

現在の納骨堂は、鉄筋コンクリート造で、一般的な耐用年数は 60 年であるが、建設から 50 年以上経過している。日向市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画において、施設の長期修繕計画が決められているが、現時点では、施設の改修や廃止、移設、新設等の方針は決まっていない。

(委員)

改修するとなるとある程度の費用が必要になる。しかし、現在の納骨堂はすべて貸出しており収入がない状況であるならば、改修に多額の費用をかけるべきではないと思う。管理料については、新たに納骨堂を建設するなどのタイミングで、導入すべきではないか。

(委員)

確かに、老朽化している現在の納骨堂に多額の費用をかけるのは、建設的ではない。無縁化している区画はないのか。

(事務局)

定期的に見回りしているが、どの区画もお供えなどきれいに管理されていて、長期間放置されている区画は見当たらない。

(委員)

今後管理料を導入することになれば、使用者への説明も必要になってくると思うが、これまでと何も状況が変わらないままでは、理解が得られないのではないか。

(事務局)

公平負担の原則からすると、今後市営墓地に管理料を導入することになったり、納骨堂を新設することになったりした場合に、それと時期をあわせて、既存の納骨堂にも管理料を導入する考え方もある。

(委員)

納骨堂の新設については、市民の方々から多くの要望があると思うが、建設するとなるとかなりの年月がかかると思う。その間、現在の納骨堂は改修を行わないままで耐えられるのか。歳入がなく、毎年歳出のみ発生しているのであれば、早急に管理料を導入するべきではないか。改修

は、様子をみながらということになるのか。

(事務局)

現時点で、改修について明確な方針は出ておらず、今後、公共施設マネジメントを推進していく中で検討していくことになる。

3 交通対策

(委員)

ぷらっとバスの利用実績を調べると、市営墓地付近で下車する人は、年間を通じて毎月10人に満たない状況である。ぷらっとバスは、日向市駅を起点・終点として運行しており、一本ごとの待ち時間も長くなることから利用が少ないのではないかと思う。

(委員)

自家用車で来ている人が多い。自転車で来る人もいるが、坂道を登るのが大変なので、ほとんど見かけない。

(委員)

費用対効果を考えなくて良ければ、お盆などの時期に限って、日向市駅から直行便のバスを運行する方法も考えられるが、利用者がどのくらい見込めるか予測できない。

(委員)

墓参りするときは、しきみや造花等を購入するなど色々準備が必要で、バスだと何度も乗り降りできないことも、利用者が少ない理由のひとつではないだろうか。

(委員)

最近、墓参りの代行サービスを行っている民間事業者があると聞いた。

(事務局)

コロナ禍の影響もあり、遠方のためお墓参りに行けない人に対して、タクシー会社等が墓参り代行サービスを行っている。日向市ではシルバー人材センターも行っている。

延岡市ではふるさと納税の返礼品となっており、社会福祉協議会が行っている自治体もある。

(事務局)

バスや自家用車以外の交通手段としては、タクシーが考えられるが、様々な理由から墓参りに行くことが難しい人には、墓参り代行業者を利用することも、一つの方法ではないかと思われる。市民に向けて情報提供をしていけば、利用が増えていくかもしれない。

(委員)

公共交通機関を充実させることは、市営墓地の立地も関係することから難しいのではないか。

4 意見交換

(委員)

6月の定例市議会において、納骨堂と新たなお墓の在り方に関して一般質問が出ていたが、その質問内容と答弁内容をお聞きしたい。

(事務局)

質問は、①年数が経過している納骨堂に対する市の見解、②納骨堂に関する市民のニーズ、③市内のお寺の納骨堂の設置状況、④新しいお墓の在り方について検討しているかの4点であった。

答弁内容としては、納骨堂については、①今後も適切に施設の維持管理に努めていくこと、②一定の市民のニーズがあることは認識していること、③納骨堂の設置状況は平成24年に県から市に経営許可事務が権限移譲されて以降は2件と答弁を行った。また、新しいお墓の在り方については、④この検討委員会において新たな埋葬形態等の協議を行っており、今年度中に報告書をまとめる予定と答弁を行った。

(委員)

納骨堂の維持管理に努めていくとは、改修を行っていくという意味か。

(事務局)

公共施設マネジメントを推進していく中において、適正に維持管理していくという意味での答弁であり、改修を行うかどうかは決まっていない。

(委員)

市営墓地の特別会計には、どのくらい人件費が含まれているのか。

(事務局)

特別会計は、維持管理費のみであり、人件費は含んでいない。

(委員)

市営墓地の上り口の道路が狭く、お盆や彼岸の時期になると車で混雑する。別なルートは考えられないか。

(委員)

水月寺から塩見小学校に抜ける道があるが、そちらも車幅は広くはない。確かに、お盆の時期などは車が並んで大変だが、新たに道路を整備する場所はないため、難しいのではないか。

(委員)

受益者負担の観点からいえば、やはり管理料の導入は必要と考える。県内9市の中でこのような検討委員会を設けている自治体はあるのか。

(事務局)

宮崎市が墓地の全体計画を作るときに、このような検討委員会を開いたとは聞いているが、その他の市の情報は入っていない。

(委員)

市営墓地内の空き区画は、全て貸出可能になっているのか。

(事務局)

空き区画の全てが貸出可能ではない。貸出が済んでいても墓石を建立していない区画もある。墓石を建立する予定がなければ、随時返還を促している。

5 その他

次回開催は、令和4年8月予定

閉会